

土岐川グリーンベルト通信 第31号

平成 22 年度「三ッ池の森」多治見中学校による活動報告

今年度、多治見中学校では、「総合的な学習の時間（環境学習）」の一環として、1年生 194 名を対象として、樹林の大切さ・樹林整備の意義についての学習会を3回、三ッ池の森の樹林整備活動を1回行いました。

○第1回学習会（平成 23 年 1 月 13 日）

講義「樹林の大切さ、樹林と人とのかかわり」
～NPO 法人鎮守の森より長尾講師を招いて～

○第2回学習会（平成 23 年 1 月 17 日）

ビデオ学習「三ッ池の森の歴史、樹林整備の意義」

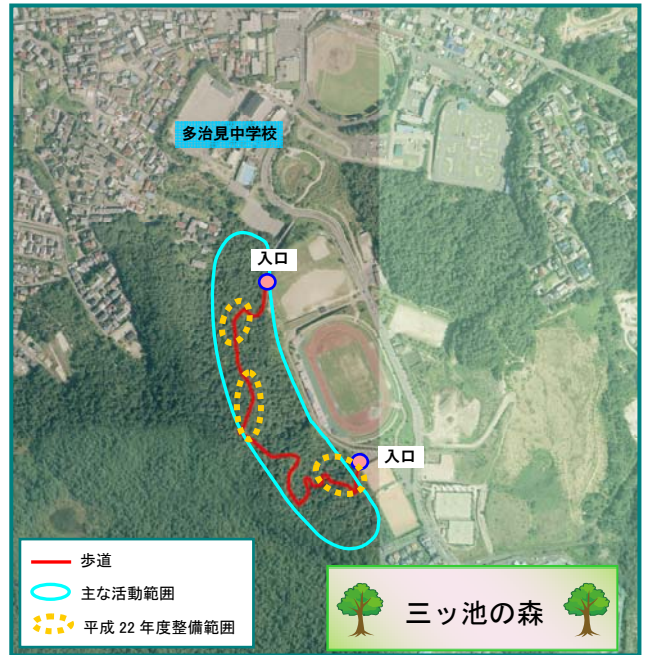
○第3回学習会（平成 23 年 1 月 27 日）

講義「樹林整備の方法（木の切り方・片付け方、切る木・残す木など）」

実習「ヘルメットのかぶり方」

○樹林整備活動（平成 23 年 2 月 3 日）

25 班にわかれて：
・密生している常緑樹の伐採（間引き）
・枯木の伐採
・整備面積：2,500 m²



学習会の様子

第1回学習会 (講義)



第2回学習会 (ビデオ学習)



第3回 学習会



講義



ヘルメットのかぶり方実習

樹林整備活動の様子

生徒は、里山をとりまく環境問題、樹林の働きや整備の必要性などの事前学習をふまえ「土砂災害に強く、緑豊かな樹林づくり」のために“自分たちができること”として、地元のNPO等の支援のもと、25班にわかれ、樹林を明るくするための木の間引きなどを実践しました。

当日は、中学校PTA、三ツ池の森整備の会、NPO法人鎮守の森、砂防ボランティア、多治見市、岐阜県、多治見砂防国道事務所により、安全管理や生徒への伐採方法の指導などの活動支援を行いました。

参加者は、中学生・支援者をあわせて、総勢266名以上でした。

集合の様子



総勢266名が整備に取り組みました

樹林整備の様子



残す木の選定（マーキング）



今回の樹林整備活動は、 地元の新聞2紙に取り上げられました！

H23.2.4 岐阜新聞朝刊 14面（東濃版）

下刈り作業をする多治見中生徒ら
—多治見市星ヶ台、三ツ池の森

多治見中生ら 森林整備で環境学習

多治見市美坂町の多治見中学校の生徒らが3日、学校近くに広がる三ツ池の森で下刈り作業を行った。同森は星ヶ台競技場に隣接し、市民が散策に訪れている。同校生徒による森林整備は4年前から行われ、この日は1年生194人が25の班に分かれ、のぎりを手に生い茂った枝や枯れ木を切り、日光の通りを良くした。

生徒にとっては、総合学習の「環境」に関する授業の一環、身近な里山で実践的な体験学習をした。（森川洋）

里山で下刈りに汗

整備前の樹林



整備後の樹林



樹林が明るくなりました！

「土岐川流域グリーンベルト整備事業」は、多治見市・土岐市の緑を対象とし、市街地に隣接する山麓斜面を一連の緑地帯（グリーンベルト）として、保全・創出することにより、土砂災害を防止し、自然環境・景観を保全することを目的としています。

作成者・お問い合わせ先

国土交通省 中部地方整備局

多治見砂防国道事務所

〒507-0023 岐阜県多治見市小田町4-8-6

TEL : (0572) 25-8020

<http://www.cbr.mlit.go.jp/tajimi/>